

平成 31 年度 第 1 回研修会の記録

開催日 平成 31 年 4 月 27 日

研修テーマ	キンランの保護と樹木の関係	参加者	埼玉県支部 22 名 他府県支部 1 名 計 23 名
講師	寺井 学氏 (大林組技術研究所 樹木医)	場所	大林組技術研究所内
資料	キンランについて (パワーポイント資料とキンラン観察会用案内図)	記録	松本 竹吾
目的	キンランはブナ科植物の根系に寄生するラン菌との共生が確認されているが、共生している樹木を保護することが「キンラン」の保護に繋がります。菌根菌に依存する共生関係のある植物保護の手法や環境およびその生態を学ぶことにより、樹木保護の多面性について考え、樹木単体から森の保護・保全につなげてゆく。		

研修内容

大林技術研究所内の雑木林の変遷とキンランの生育環境及び 21 年間のモニタリング成果ならびに、ギンラン等他の菌根菌依存植物についてもモニタリングの成果について講義を受けた。

所内の雑木林には、キンランのほか、ギンラン、ササバギンラン、サイハイラン、クゲヌマランなどが生育している。キンラン、ギンラン、ササバギンランは 1998 年から生育を確認しているが、クゲヌマランが初めて生育を確認されたのは 2010 年であった。キンランは 1998 年より年ごとに個体数の増加が確認されているが、ギンランは 2010 年、ササバギンランは 2012 年をピークに減少傾向にあることが報告された。

キンランを含むラン科植物はラン菌との共生関係にあるが、枯死木、風倒木等の影響で林は少しずつ変化しており、林内の光環境の差異などから種ごとの個体数に何らかの影響を与えているものと推測される。



講義風景



林内観察風景



キンラン



ギンラン